

大分県臼杵市



八町大路

【まちづくり団体について】 臼杵デザイン会議



1. 活動目的

実践活動を行う

地域のグランドデザインを地域住民自らが描き、議論だけでなく実践活動をするを目的として活動している。

2. 行政との連携方法

- ・行政会議への参加
- ・提言・要望の提出

行政が主催する会議への参加や臼杵デザイン会議で出た提言・要望を伝え、実行してもらっている。

まちづくりについて

1. まちづくりのきっかけ

町並みゼミによる意識醸成

昔ながらのまちなみ景観を守ろうと、歴史景観を守る会、大分県建築士会臼杵支部、臼杵デザイン会議等地域団体が主体となって始まった。

また、全国町並みゼミが臼杵で開催されたことでまちなみ保存の意識が高まった。

2. 反対者の有無

なし

地域住民全体が共通理解を持ってまちづくりを進めていったため、特に大きな反発はなかった。

3. まちづくりを行う上での肝

- ・理想と現実の折り合い
- ・生活を維持していく

地域住民が想像している理想と行政が実際に実行できる計画との折り合いをつけなければならない。

また、外観を調和させるだけでなく、そのまちに住みたくなる、快適、利便、安心安全の3つをいかに組み合わせさせて暮らせて生活も維持していけるようにまちづくりを行っていくことが大切である。

4. 結果を出すために実施したこと

- ・合意形成のための話し合い
- ・施設の活用

外部意見を参考にするなどしてまちづくりの方向性を決定するために話し合いを重ね、合意形成を図った。

建物は利用しなければダメになっていくという考えから、修景した国登録有形文化財を臼杵市民に無料開放して利用してもらっている。

特に子供たちが利用することで幼少期からまちの価値観を知り、将来的に保全につなげてもらえるように誘導することも意図している。

ワークショップについて

1. 開催について

何千時間にも及ぶ話し合いを重ねながら、まちづくりの方向性を決めていった。

臼杵城跡の手すりの設置位置を決める際にも話し合いを重ねるなど、細かな部分の決定の際にも毎度話し合いを行った。

また、建物の活用方法を考えるためにシンポジウムを実施するなど、より開かれた場で広く意見交換を行った。

2. 内容について

ファシリテーター、アドバイザーを兼任で大学教授に依頼し、とりまとめとアドバイスの両方を行ってもらった。

行政と地域住民双方に理解のある第3者が入ることでお互いの意見をうまくとりまとめスムーズに進行できた。

1. まちづくりを行って一番変化した点

住民の意識

まちづくりの方向性を決めるため何度も話し合いを重ねたことで、まちづくりに対する住民意識が変わり、皆が共通の認識を持っている。



1. まちづくり団体との関わり

事業検討組織への参加要請

事業計画策定にあたり、まちづくり団体関係者に臼杵市の検討組織へ参加していただき、経験やまちづくりへの強い思いを参考とさせてもらっている。

2. 地域住民との合意形成を図る際の進め方

各専門分野で知識豊富な人との交流

歴史的な経緯、現地での活動による地域の良さを知っている方、専門的知識を持つ地元建築士会の方との意見交換を行った。

まちなみの現地調査を依頼したり、一緒に同行することで臼杵の良さや目指すところを十分認識し、各種施策に取り組んできた。

まちづくりについて

1. 行政の役割

支援・補助

団体活動で出た行政への意見、提言を受け、行政として必要な支援や事業実施を行った。

2. まちの整備と費用

<u>道路</u>	<u>13億円</u>
<u>建物</u>	<u>25億円</u>
<u>公園・広場</u>	<u>9億円</u>

道路整備は、道路の石畳化や無電柱化を行い、建物の再生事業は、国登録有形文化財等の修復・改修工事や臼杵城跡の保存整備事業を行っている。

3. 利用した補助事業

- ・身近なまちづくり支援街路事業(国土交通省)
- ・街なみ環境整備事業(国土交通省)
- ・まちづくり交付金事業(国土交通省)
- ・中心市街地活性化事業(経済産業省)※商工部局で実施
- ・商業地域景観形成事業(県補助)

ワークショップについて

1. 行政の役割

事務局

事務局としてワークショップを運営し、場所や人の調整を行った。

役割としては、各種情報の提供とワークショップで出た意見を調整し、施策に反映させた。

(まちづくりの計画をわざと欠陥のある形で提案し、議論してもらおうと案外良い結果となる)

2. アドバイザー、ファシリテーター等の情報提供

なし

情報提供は行っていないが、行政と地域住民双方のことを理解し、摺合せができる人物を起用すると良い。

まちなみについて

1. 整備後のPR方法

- ・観光パンフレット
- ・散策マップ
- ・観光協会HP

観光部局において、パンフレット等を作成し、情報提供している。

臼杵市民にも八町大路周辺が臼杵の特徴的な場であるという認識が高まっている。

2. 来訪者増加対策

- ・拠点施設整備
- ・施設の一部無料化

まちなみ散策に訪れる人は増加しており、拠点施設をまちの入口に整備したり、施設の一部を無料化などしている。

3. 地域住民からの苦情

- ・建物の維持管理
- ・空き家の増加

高齢化や人口減少により、建築物の維持管理方法や空き家の増加に関する問い合わせがあるが、景観助成制度や空き家条例を制定し、景観を保全するための建築物の維持修繕費用や空き家改修費用の助成を行って、建築物の維持と新規居住者を促している。

臼杵市内のまちなみ



通りの風景

